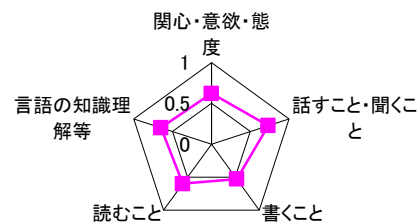


## 内容別・観点別の分析

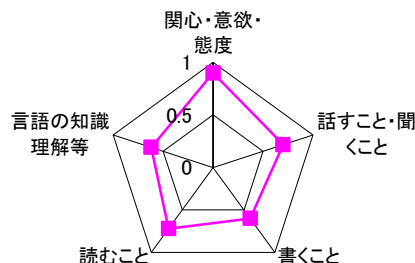
(様式2)

| 1年        | 観点別平均達成率 |
|-----------|----------|
| 関心・意欲・態度  | 62%      |
| 話すこと・聞くこと | 73%      |
| 書くこと      | 53%      |
| 読むこと      | 60%      |
| 言語の知識理解等  | 65%      |



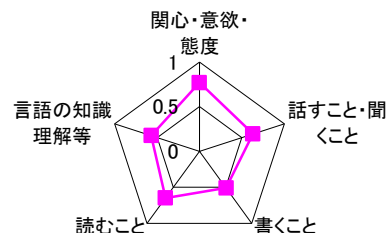
定期考査及び7月までの指導状況の分析

| 2年        | 観点別平均達成率 |
|-----------|----------|
| 関心・意欲・態度  | 90%      |
| 話すこと・聞くこと | 70%      |
| 書くこと      | 60%      |
| 読むこと      | 72%      |
| 言語の知識理解等  | 62%      |



定期考査及び7月までの指導状況の分析

| 3年        | 観点別平均正答率 |
|-----------|----------|
| 関心・意欲・態度  | 77%      |
| 話すこと・聞くこと | 63%      |
| 書くこと      | 51%      |
| 読むこと      | 65%      |
| 言語の知識理解等  | 57%      |



定期考査及び7月までの指導状況の分析

## 指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画 (様式3)

|    | 指導方法の課題分析                                                                                         | 具体的な授業改善策                                                                                  | 補充的・発展的な指導計画                                                                 |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 1年 | 読み書きの基礎を、徹底するような指導に努め、ある程度は成果があったが、自分の考えを、論理的に文章に表す力が、まだ不足しているように思う。                              | 授業を通じて、基礎的な学習方法を徹底し、それが繰り返されるように促す。成果を上げさせ、国語を学習することに対する意欲をもたせたい。                          | 課題等に、達成度を設けながら、達成できない生徒については、個別に達成できる機会を与えるようにする。機会あるごとに、文章を書く機会を課題として与えていく。 |
| 2年 | 自分の考えを書いて表現させることの指導時間が少ない。発表の場も少ないため、他の人の文章を評価する時間が少なかった。それに加え、言語の定着も難しい。辞書等の活用を増やし、豊かにしていく必要がある。 | 文章を多く書かせ、発表する場を設ける。意見発表会を企画し、他の人の意見を聞いて自分の考えをもち、それを表現させる単元設定をする。辞書を持参させ、平仮名の多用を減らすように指導する。 | 一つの課題に対して、段階別の達成目標を提示し、自分の能力に合った達成目標を目指し、個々の能力の伸長を図る。                        |
| 3年 | 漢字の読み書き、語句の意味の習得などには、真剣に取り組む姿勢が見られた。作文の課題にも、以前より精力的に取り組む様子が見られたが、内容については不十分なものが多い。                | 作文については、繰り返し行うことで、拒否的な姿勢をなくす。言語に関する基礎的な内容について、再度復習しながら身に付けさせ途中であきらめることのないよう、意欲を継続させる。      | 課題については、達成度を明確し、個別に達成できるよう促す。達成度によって発展的な内容に個別に取り組めるような課題を準備していく。             |